

グループ発表会の手引き

8組のグループ発表会は

9月27日(金)2限・9月28日(土)3限です。

●グループ発表会で、発表(授業)と評価(生徒評価)を行います

(1)発表班は「**授業発表**」を発表します

(2)発表を聞いていた班は評価を行い「**評価+理由**」を発表します

※クラスには全班の作成した**レジュメ**を綴じた冊子を配布します

(1)発表

『発表のルール』

・プリントNo.4(2)「授業発表の評価」を確認して、**三項目すべてがレベル3になることを目標に**臨んでください。

・レジュメは教科担当(田原)が用意します。その他の教具で手助けが必要な場合は**事前にご相談ください**(作成したスライドを投影したい、レジュメ以外の配布資料を印刷してほしい、○色のチョークを使いたい、演劇の効果音が必要なのでBluetoothスピーカーを借りたい、など)

・**発表時間6分**(評価・交代・準備時間など含めると持ち時間8分)

※『**発表班の脚本**』①から⑤までを**通して6分**で練習してください。

・章の順番に沿って、1班から順に発表します。

※先のタイムスケジュールで**自分たちの発表時間**を確認してください。

『発表の順番と持ち時間』

発表3日目(20分程度) 10/4(金)9:30-10:20	発表2日目(70分) 9/28(土)11:10-12:20	発表1日目(50分) 9/27(金)9:30-10:20
9:30-9:36 説明・漢字テスト	11:10-11:16 説明・漢字テスト	9:30-9:44 説明・漢字テスト
準備 9:36-9:38	準備 11:16-11:18	準備 9:44-9:46
12班 10/4 9:38-9:44	5班 9/28 11:18-11:24	1班 9/27 9:46-9:52
評価・交代 9:44-9:46	評価・交代 11:24-11:26	評価・交代 9:52-9:54
13班 10/4 9:46-9:52	6班 9/28 11:26-11:32	2班 9/27 9:54-10:00
評価・交代 9:52-9:54	評価・交代 11:32-11:34	評価・交代 10:00-10:02
記述問題	7班 9/28 11:34-11:40	3班 9/27 10:02-10:08
	評価・交代 11:40-11:42	評価・交代 10:08-10:10
	8班 9/28 11:42-11:48	4班 9/27 10:10-10:16
	評価・交代 11:48-11:50	評価 10:16-10:18
	9班 9/28 11:50-11:56	10:18-10:20 まとめ
	評価・交代 11:56-11:58	
	10班 9/28 11:58-12:04	
	評価・交代 12:04-12:06	
	11班 9/28 12:06-12:12	

『発表班の脚本』

○教室の前方黒板前にて

発表班 「①」「②」班の発表を始めます。宜しくお願い致します。」

・聞き手は拍手をしてあたたかい雰囲気を作る

発表班 「②私たちの脚本は「教科書〇ページの〇章（自分の班の担当する章を言う）」です。」

発表班 「③では、授業をはじめます。」

・発表班は授業を開始する

発表班 「④」

《授業をする。》

発表班 「⑤以上で発表を終わります。ご清聴ありがとうございました。」

・聞き手は全員拍手をして頑張った班にねぎらいを送る

(2) 評価

『授業評価のルール』

- ・時間2分以内で 手順①と②を行う
- ・発表班に対する評価を評価冊子(プリントNo.4(2))「授業発表の評価」と同じにまとめる

手順① 評価の観点ごとに、発表がどのレベルに該当するのか評価します。該当する欄に直接〇印をつけましょう。

内容	発表の工夫	チームワーク	合計
3. 意見交換の場として、深い読みや相対的思考の過程が表れており、草の目標が達成された内容だ。...	ナイドや模造紙の活用や漫画や演技など、わかりやすく伝えるための工夫の意図の工夫がある。そのため聞き手とのコミュニケーションが取れており、相互発表の空間が構成されている。	内容構成、資料作成、発表の各場面やチームワークがよく発揮されている。メンバーの個性が見える発表である。	
2. グループで意見交換して考えたことが、構成よく整理されて伝えられている。草の目標が1つ達成された内容だ。...	ナイドの工夫は、ナイドや模造紙の活用や漫画や演技など、わかりやすく伝えるための工夫の意図の工夫がある。そのため聞き手とのコミュニケーションが取れており、相互発表の空間が構成されている。	内容構成、資料作成、発表の各場面やチームワークがよく発揮されている。	
1. 発表内容に深い読みや根拠(思考の道筋)のある説明がなされていないために、表面的な内容で終わっている。草の目標は達成していない。	ナイドの工夫は、ナイドや模造紙の活用や漫画や演技など、わかりやすく伝えるための工夫の意図の工夫がある。そのため聞き手とのコミュニケーションが取れており、相互発表の空間が構成されている。	内容構成、資料作成、発表の各場面やチームワークが十分に発揮されていない。	

内容	発表の工夫	チームワーク	合計
点/	点/	点/	点/

手順② 全ての観点を評価したら、合計点を出します。レベル1を1点、レベル2を2点、レベル3を3点として採点し、最高点を9点、最低点を3点とします。ルーブリック表の下の方欄に書き入れましょう。

『評価者の脚本』

- ・場合によっては、その場で評価の発表(評価とその根拠)を行う
- ・発表を聞いた班「発表ありがとうございます。」

私たちは、皆さんの授業の「表現の工夫」を「レベル3・2・1(自分がつけた評価を言う)」にしました。その根拠は、(①)は良かったが、(②)はできていなかったからです。また、(③)という視点は私たちの班の発表にはなかったので、新しい発見でした。以上です。ありがとうございます。」

・聞き手は拍手をする